

児童発達支援 事業所における自己評価結果（公表）

公表：2022年3月30日

事業所名：みんなのき ねーね

区分	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	2	1	活動内容や子どもの特性などにより、部屋のレイアウトの調整や、活動場所の調整を行っている。	集まりなどの際に、人数によっては狭さを感じる状況となっている。グループの人数の調整や時間による入れ替えなどを行っている。
	2 職員配置数は適切であるか	1		基準人員を確保している。	よりきめ細やかな支援につながるよう人材確保を進めていく。
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境※1になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	2	1	共用スペースなどの多さがあるため、構造化の難しさがある。動線の調整や情報発信などを行うことで調整している。園内設備に関しては建設にあたり段差を極力少なくする、エレベーターを設置する、車いすの方でも使用できるトイレの設置など、併設事業所と協働する形でバリアフリー化への配慮を行っている。	子どもたちにとってわかりやすい環境となるように、視覚支援や刺激の調整などを行っている。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	4		通常の清掃に加え、室内消毒、玩具の消毒などに気を配っている。	引き続き取り組んでいく。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	2		日々振り返りを行い、その中により良くするには、といった視点の項目を取り入れることで目標設定などを行っている。	引き続き取り組んでいく。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	4		開設初年度の為過去の実績はないが、今回意見を集約し、職員間で共有検討を行った。	具体的な対策、対応となるよう案を作っていく。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	1		開設初年度の為過去の実績はない。職員間で共有検討した内容についてホームページにて公表を行う。	次年度以降も継続して行う。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		1	現在未実施。	今後の受診を検討している。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4		各種研修に参加している。研修に参加しやすくなるよう、業務時間中の研修参加に関しても可能な範囲で認めている。	引き続き取り組んでいく。
適切な	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	4		初回面接、中間のモニタリング面接等保護者へのニーズの聞き取りと、行動観察記録などをもとにアセスメントおよび計画の作成を行っている。	引き続き取り組んでいく。
	11 子どもの適応行動の状況を計るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4		初回面接時等で、現在の状況について確認するチェックシートを用いアセスメントを進めている。また、発達段階をチェックすることのできるシステムを利用している。	引き続き取り組んでいく。
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援（本人支援及び移行支援）」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	4		保護者からのニーズに即した形で、各種支援を組み合わせる形で個別支援計画を作成している。	引き続き取り組んでいく。
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	3		支援計画に関しては、職員間で会議を行い計画立案等を行うことで、内容の共通認識を深め支援計画に沿った支援になるよう工夫している。非常勤職員に関しては会議に参加していないため、情報の共有が今後の課題である。	支援計画会議の中で話し合われたことについての記録を読み合わせるなどの取り組みを行う。
	14 活動プログラムの立案をチームで行っているか	4		活動内容に関しては、各曜日ごとに主となる担当を決めたうえで、チームで考えている。	引き続き取り組んでいく。

文 援 の 提 供	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	4		運動、制作、園外などを取り入れることで、活動の内容や環境が固定化しないよう配慮している。また、季節の遊びを取り入れることでも、活動プログラムが固定化しないよう配慮している。	引き続き取り組んでいく。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	4		大人の介入の度合いを意識した個別支援計画づくりを行っている。実際の支援場面では必要な場合には個別に担当するスタッフを決めるなどして取り組んでいる。	引き続き取り組んでいく。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4		毎朝活動前に、活動内容や狙いの共有、人員配置についての打ち合わせ時間を設けている。	引き続き取り組んでいく。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4		活動終了後活動内容の振り返りを行っている。基本的には会議として行っているが人員配置の状況によっては、曜日ごとの主の担当から各職員への聞き取りといった形をとることもある。	引き続き取り組んでいく。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	4		支援内容に関しては、毎回、記録システムを利用して記録している。併せて、日々の振り返りなども記録システム内に記録することで支援内容の検証改善につなげている。	引き続き取り組んでいく。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	4		定期的に保護者、児童発達支援管理責任者、支援担当の3者にて面談を行い支援計画の見直しや、現在の方針について共有を行っている。	引き続き取り組んでいく。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	21	障害児相談支援事業のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしいものが参画しているか	4		児童発達支援管理責任者を中心として、必要際には支援担当も同席する形で会議に参加している。	引き続き取り組んでいく。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	4		京田辺市子育て支援課、地域の担当保健師、児童相談所、地域の相談支援事業所などと日頃より連携を行っている。保護者からの要望があった場合には間に入る形で連携するようにしている。	引き続き取り組んでいく。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか			非対象	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか			非対象	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	4		小学校・保護者面談への同席や、保育所への参観連携などを行っている。今年度に関しては、コロナ禍もあり、参観連携については十分でない部分もある。	今後参観連携に関しては、コロナの状況を見ながらにはなるが対象を広げている。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	4		市の取り組みの一つである、足跡ファイル(移行支援シート)の作成など、情報共有に留意している。	引き続き取り組んでいく。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4		各種協議会などの主催する研修への参加など、他の事業所との連携の機会を設けられるようにしている。	引き続き取り組んでいく。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	4		自園に、こども園、学童が併設されており、日ごろの活動から自然に交流ができる環境となっている。今年度に関しては、コロナ禍もあり、積極的な交流には至っていないが、運動会の共同開催などを行った。	コロナの状況を見つつ慎重に進めていきたい。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	2		地域の事情もあり自立支援協議会への参入には至っていないが、開催される研修、会議などへの参加を行っている。	引き続き取り組んでいく。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	4		活動終了後に保護者への報告の時間を設けることで子どもの状況をの共有に努めている。コロナの状況により、報告を縮小、中止している期間がある。	コロナの状況を見つつ慎重に進めていきたい。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	2		概ね月一回、保護者を集めてグループでの話し合いや情報提供を行う機会をとることを計画していた。実際にはコロナ禍の為、今年度は数回の開催にとどまっている。日頃より、保護者よりノートにて子育てに関する相談などを受けており、そちらへの助言等は行っている。	コロナの状況を見つつ慎重に進めていきたい。

保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4		年度当初にそれぞれの方に対して説明を行っている。	引き続き取り組んでいく。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	4		保護者、児童発達支援管理責任者、支援等との3者で個別支援計画を確認する場を設けており、十分な説明をしたうえで同意を得られるよう配慮している。	引き続き取り組んでいく。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4		定期的な面談（概ね半年に1回）に加え、ノートへの記入や、臨時での個別面談、電話相談に応じられる状況を整えており、相談に応じている。	引き続き取り組んでいく。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会などを開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	1		保護者を集めての月1回のグループ活動を計画していたが、今年度は数回の開催にとどまっている。また、保護者待機部屋の設置などを行うことで保護者同士のコミュニケーションの場の確保を進めていたが、現在はコロナ禍のため利用を原則中止としている。	保護者同士が気軽にコミュニケーションがとれるよう、今後の状況を未償にはなるが、待機部屋の開放などを進めたい。
	36	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4		苦情受付・解決係を定め、苦情を陳情するためのフォーマットを配布するなどの対応を行っている。今年度に関しては、ご意見に関してはいただいたが、苦情には至っていない。	引き続き取り組んでいく。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	4		月一回会報を発行している。また、メールの一斉送信システムを活用し、面談予定や行事予定などの発信を行っている。	引き続き取り組んでいく。
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	4		日々の活動記録や振り返りの内容に関しては、園で導入しているIDやパスワードの必要なシステム等を使い管理している。個人のケースファイルに関しては鍵付きの書庫にて保管している。	引き続き取り組んでいく。
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	4		スケジュールカードや、写真、イラストなど子どもの特性に合わせた配慮を行っている。	引き続き取り組んでいく。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	2	2	園単体としては行っていないが、併設園の取り組みとしての園庭開放などの取り組みがなされている。行事に関しては、今年度に関しては、コロナの影響もありほぼ行っていない。	地域に向けた行事の企画なども今後検討していく。
	非常時などの対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	4		各種マニュアルを整備しており、閲覧可能な状況にしている。保護者には内容に応じて別紙として配布するものもある。訓練に関しても概ね月一回行っているが、実施内容などの発信に関しては十分に行えていなかった。
42		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	4		併設される園と合同で行う形で、概ね月一回のペースで避難訓練を実施している（火事、地震、水害、不審者対応等）。保護者への内容発信に関しては不十分	避難訓練の予定や内容の発信などを行っていく。
43		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	4		初回面接の際に、服薬状況や既往、予防接種の経過などを記入していただいている。	引き続き取り組んでいく。
44		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	3		除去に関しては、弁当を持参してもらっているため保護者に委ねている状況。指示書による対応は現状ないが、アレルギーの状況に関しては聞き取りをしており、内容により座席の配慮などを行っている。	アレルギーの状況の聞き取りを継続するとともに、エビペンの使用など指示の必要なものが今後出てくる場合には適切な対応を講じる。
45		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	2		ヒヤリハットの事例集の作成を行っている。共有に関しては、システム上で見られるようになっているが、非常勤職員への共有などの部分で課題が残る。	閲覧性の高い形での運用を検討する。
46		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4		事業所内研修にて虐待について取り上げる機会を設けている。	引き続き取り組んでいく。
47		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	1		身体拘束が必要なケースが現状ないこともあり、保護者への説明や児童発達支援計画への記載の実績はない。	今後、身体拘束が必要と思われるケースが出てきた場合に組織としてその必要性や方法について検討するよう、配慮する。